

## 第73回東北薬剤師会連合大会 ～2022.11.19-20 青森市～ 開催報告 大会テーマ「不易流行～選ばれる薬剤師を目指して～」

令和4年11月19～20日に、青森市文化観光交流施設ねぶたの家ワ・ラッセで第73回東北薬剤師会連合大会が開催されました。今年度も新型コロナウイルスの影響で、昨年の秋田県に引き続きハイブリッドでの開催となりました。連合大会は東北6県が持ち回りで開催し、今年度は青森県担当で講演会と薬事衛生功労賞の表彰を行いました。

今回、特別講演1は日本薬剤師会副会長渡邊大記先生より「医療ICTの進展と薬剤師の業務」についてご講演いただきました。そして特別講演2では前衆議院議長大島理森先生から「先進国の少子化現象と政治文化の比較について」のご講演をいただきました。大島先生は皆様ご存じの通り、三権の長の一角を構成する衆議院議長として、歴代最長の在職期間を務められた先生です。多くの経験から出たお話や考え方は、たくさんの学びや気づきがありました。

講演会後は式典では、東北薬剤師会連合会白滝貴子会長のあいさつの後、青森県健康福祉部永田翔部長、日本薬剤師会山本信夫会長から祝辞を頂戴いたしました。また、参議院議員神谷まさゆき先生はwebで、参議院議員本田あきこ先生はビデオメッセージで連合大会に祝辞を送ってくださいました。

その後に薬事衛生功労者表彰式が執り行われ、青森県からは川村幸子先生と青木一朗先生が表彰されました。

2日目は「選ばれる薬剤師を目指して」をテーマにシンポジウムが開催されました。このテーマを題に各県から発表があり、青森県からはテックイースト薬局の奥出貴博先生から「地域薬局が取り組む「くすりと栄養」による患者支援～薬局薬剤師・薬局管理栄養士の連携活動を通して～」について発表があり、とても興味深い発表で、会場からも多くの質問が出ていました。各県の発表後、青森県薬剤師会坂井副会長を司会として、各県の発表を掘り下げる討論が行われ、活発な意見が飛び交っておりました。東北6県の薬剤師と日本薬剤師会とで貴重な意見や情報交換のできた、有意義な二日間でした。

今回のテーマ「不易流行」とは、「いつまでも変化しない本質的なものを忘れない中にも、新しく変化を重ねているものをも取り入れていくこと。」です。まさに今の薬業界に求められている姿だと、ご講演・ご祝辞を頂戴した先生方の言葉から感じました。

来年は岩手県で開催予定です。青森県からも多くの先生が参加し、研修・交流の機会を得ていただけたらと思います。